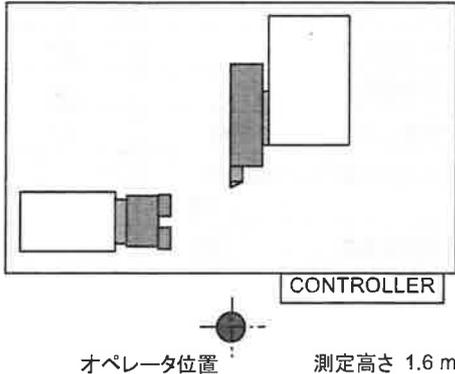


# 1 機械本体の標準データ

## 1-1 本機的主要仕様

- 芯間 650U

項目		単位	QTN-300	QTN-350
能力・容量	チャック・サイズ	inch	10	12
	最大スイング	mm	φ680	
	標準加工径	mm	φ264	
	最大加工径	mm	φ420	
	棒材作業能力	mm	φ77 ※1	φ102 ※2
	主軸端と刃物台端面の距離	mm	142~822	137~817
	最大支持荷重(チャックを含む) ※4	N (kgf)	4410 ( 450) [チャックワーク] 9800 (1000) [シャフトワーク]	6370 ( 650) [チャックワーク] 9800 (1000) [シャフトワーク]
主軸	主軸回転速度 ※3	min <sup>-1</sup>	35~4000	35~3300
	主軸貫通孔径	mm	φ88	φ112
	モータ出力(30分定格)	kW (HP)	26 (35)	30 (40)
	最大トルク	N·m (kgf·m)	600 (61.2)	724 (73.8)
テール ストック	テールスピンドル穴型式 ※5	MT	No. 5	
	移動量(テールストック)	mm	645	
	最大推力	N (kgf)	10000 (1020)	
刃物台	工具本数	本	12	
	工具サイズ	外径旋削	□25	
		内径旋削	φ40	
	割出し時間	one/full	sec 0.2/0.65	
送り軸	早送り速度	X/Z	m/min 30/25	
	移動量	X	mm 225 (220+5)	
		Z	mm 680 (675+5)	
その他	クーラントタンク	L	210	
	電源容量(連続/30分)	kVA	43.83/49.69	43.64/55.31
総合	大きさ	心高	mm 1080	
		全長	2880	日本、アジア 2880 ※3 日本、アジア以外 3010
		全幅	2050	
		全高	2000	
	フロアスペース	m <sup>2</sup>	5.90	日本、アジア 5.90 ※3 日本、アジア以外 6.17
	機械質量	kg	6600	6700

項目		単位	QTN-300	QTN-350
騒音	騒音値(LWA)	dB	75.4	
	不確定値(K)		4	
	測定条件	1. 主軸回転数 3200 min <sup>-1</sup> (チャックによるワーク保持) 2. 送り軸駆動 3. タレットインデックス作動 4. チップコンペア ON 5. テールストック未使用		
	測定方法	EN-12415/12417/12478, ISO230-5		
	測定位置	 <p>オペレータ位置 測定高さ 1.6 m</p> <p>(注) この機械の空気伝導騒音の主音源は下記を含む            ・主軸ドライブ                      ・送り軸ドライブ            ・タレットインデックス          ・チップコンペア</p>		
<p>注記: 提示した騒音値は参考値であり、必ずしも安全作業レベルの値ではありません。作業者が実際にさらされる騒音環境は、機械自身の他に、作業部屋や他の騒音も含まれ、機械の数・他の隣接する次工程・作業者がさらされている時間にも影響されます。また、許容される作業者への騒音環境も国により異なります。つまり、提示した騒音値と実際の騒音値には相関性がありますが、更なる予防措置が必要かどうかを判断決定するために、この提示した騒音値のみ信頼して使うことはできません。</p> <p>以下に原文を示します。(EN-12415/12417/12478 の序文より)            The figures quoted are emission levels and are not necessarily safe working levels. Whilst there is a correlation between the emission and exposure levels, this cannot be used reliably to determine whether or not further precautions are required. Factors that influence the actual level of exposure of the work-force include the characteristics of the work room, the other sources of noise, etc. i.e. the number of machines and other adjacent processes, and the length of time for which an operator is exposed to the noise. Also the permissible exposure level can vary from country to country. This information, however, will enable the user of the machine to make a better evaluation of the hazard and risk.</p>				

- ※1 中空チャック&シリンダ B-210A815X+S2078-15Y(北川鉄工所)装着時。
- ※2 中空チャック&シリンダ B-212A115X+F2511HS-15A(北川鉄工所)装着時。
- ※3 チャック仕様により異なります。
- ※4 ワーク保持装置の剛性・保持力は考慮されていません。
- ※5 標準デッドセンタ仕様。

**注意:** 本説明書で示されている数値と機械に取り付けてある銘板の数値が異なるときは、銘板の数値を使用してください。